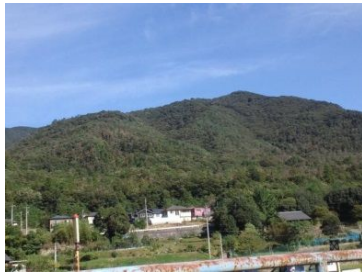


8. 広島市安佐北区最高峰 白木山 (888.9m)

広島市安佐北区



白木山は山頂一带に中国クマザサが繁茂し、その葉が白く光り「白洪」と呼ばれたことが山名になったとか。今は山頂付近は整備され、そのササが少なくなっているらしい。

広島市安佐北区	2017,4,1 推定
<面積>	353.33km ²
<人口>	142,559人
<人口密度>	403人/km ²

【山行日】 7月16日(日) ☆天候：晴れ

【参加者】 17名 CL曾田映子 SL宮木澄代・原田清子

滝 坂井 三浦 宮木(一) 長松 新江 大坂 杉山 合志 中島(恵) 中島(靖) 田所 西田 藤井(会友)

【コースタイム】

白木山駅 8:50→登山口 9:00→2合目 9:20→2.5合目 9:40→5合目 10:20→水場 11:05→11:35 白木山山頂 13:05→桐原分岐 13:25→中深川分岐 14:30→下山口 15:48→中深川駅 16:20

【報告】

～本当に訓練の山～

お天気が影響して湿度が高く登りはじめていくらかも経たないうち顔から首に汗が次から次へと流れ始め体調を考慮して数名下山を選択された。

間で水分補給の休憩を繰り返し、ほかのグループを追い越し追い越されしながら何とか頂上に着いたが見晴らしが良い分日陰を求めてやっと腰をおろせた。服がベタベタで皆さん着替えておられた様子でした。頂上はかなりのアセビの木などが切り倒されて360度の展望になっている。



頂上では多めに休憩を取り下山に向かった。

歩きやすい道は桐原分岐まで。林道の砂利道が中深川分岐まで、そこからアンテナ、鉄塔を通りすぎ、もう少しで車道に出る手前でアンテナをつけた猟犬に遭遇して少しの間足が思うように進めなかった。鹿を追いかけているところだと飼い主の説明でした。ここからは数分で下山口にたどり着いた。

新米CLはこの山が道も広いし寂しく感じることも無い山なので月に1~2回ピストンさせてもらっているが、朝の1~2時間差で登山の楽しみも違う事を感じた。有難うございました。ご苦労様でした。

(記 曾田映子)

なかごおりこどう
白木山の麓には中郡古道の一部が残っている。

中郡古道・・・戦国時代末期、毛利輝元が吉田の郡山城から広島湾頭まで造らせた道があり、後にこの道を利用して人や資材を運び、広島城ができたようである。その道の三篠川流域が中郡道で、今も古い道の一部が残っている。

やまぼうしで、中三田から狩留家までの中郡古道を歩いた。



まず正覚寺境内にある三田一族の墓所に始まり庄屋永井邸から栗原八幡神社に、そして中郡古道中山峠石畳という石畳と樹林のトンネルを抜けて福永荒神社で昼食をとる。ここは今は廃校になった三田西小学校跡地（現在は下三田集会所として利用）にあり、国民学校時代はこの拝殿も教室として使われていたというめずらしい話を、こちらで待っていて下さった三田郷土史会の会長さんが説明して下さい。さらに境内には明治16年広島一三次間に道路を建設した檜崎圭三之碑もあった。

昼食の後、宮原観音から木洩れ日が入る川沿いの山道である中郡古道を通って出た先の舗装道路を暫く行くと狩留家駅に着いた。

2017, 9/3 やまぼうし山行記録より抜粋

白木山への登山口はここから北西へ山の方へ入る。

中郡古道散策図は7地域が連携し、5地区に分けて作られています。上の地図は三田編の一部です。



安佐北区最高峰白木山の山頂で



今までやまぼうしで登った安佐北区の他の山

- 高松山 鎌倉寺山 堂床山 本串山
- 可部冠山 久地冠山 福王寺山
- 水越山 備前坊山 小掛山 安駄山
- 神ノ倉山 高鉢山 木ノ宗山
- 二ヶ城山